

櫻井忠溫氏著

死は走り寄る

3、支那兵の妻

「銃剣は耕す」より（十七）

長春南領にて

兵舍の中の支那兵の混亂のさまはいつまでも私の眼に、アリ。どうつる。厚い黒壁に頭ほどの孔をどころとも突きあけてゐる、それはこの騒ぎの中にそこを掘り抜いて、鐵砲を打つたのである。兵舍のぐるり八方から撃ち込まれながら、孔を掘り抜いた彼等の手のわななきが眼に見えるやうである。

兵舍の壁に「軍人宣尚武勇」といふ大額が掲げてある、大砲で撃たれて泣き出したりする勇敢な兵隊がこの中にゐたのである。

連長（中隊長）の部屋の寝台は、の字なりに折れてゐる、踏み折つて逃げたわけもあるまいが天狗どもが荒したかと思はば大きな板戸が破れたり、床がねげたりしてゐる、いくさには弱くとも、あはれる段には馬鹿力が出来る奴だと見るる。

武田少尉が一方の小舎から、次の兵器庫に移ると、少尉のすぐ後にわた兵士が撃たれて斃されたときは、少尉のすぐ前のが斃れた。

かういふ時に弾が中るものか不思議な運命の約束事ではある私の記憶には色々なものがある、立つてゐたところへ弾が来たので伏せさと頬に中つて死んだのがある、立つてゐた方死んだのがある、立つてゐたなら弾は股の間をくづつたか

K上等兵はここで「皆さんへ死んだ人の血が残つてゐるのだから

慢性諸病フ根治スル針灸・
スナーフ電氣療法殊ニ神經
病婦人病△慢性諸病有り
川原物理療院
(下矢鐵工所ノ前)

烟の中に夫を訪ねて來た彼女の心根を思ふと眼があつくなつた。この年との間に彼女は果してどちらを選ぶ。▲(のらくろ実道隊)(雄三郎)の二つの附録を書くべきである。元氣

兵舍の中の支那兵の混亂のさまはいつまでも私の眼に、アリ。どうつる。厚い黒壁に頭ほどの孔をどころとも突きあけてゐる、それはこの騒ぎの中にそこを掘り抜いて、鐵砲を打つたのである。兵舍のぐるり八方から撃ち込まれながら、孔を掘り抜いた彼等の手のわななきが眼に見えるやうである。

兵舍の壁に「軍人宣尚武勇」といふ大額が掲げてある、大砲で撃たれて泣き出したりする勇敢な兵隊がこの中にゐたのである。

連長（中隊長）の部屋の寝台は、の字なりに折れてゐる、踏み折つて逃げたわけもあるまいが天狗どもが荒したかと思はば大きな板戸が破れたり、床がねげたりしてゐる、いくさには弱くとも、あはれる段には馬鹿力が出来る奴だと見るる。

武田少尉が一方の小舎から、次の兵器庫に移ると、少尉のすぐ後にわた兵士が撃たれて斃されたときは、少尉のすぐ前のが斃れた。

かういふ時に弾が中るものか不思議な運命の約束事ではある私の記憶には色々のものがある、立つてゐたところへ弾が来たので伏せさと頬に中つて死んだのがある、立つてゐた方死んだのがある、立つてゐたなら弾は股の間をくづつたか

K上等兵はここで「皆さんへ死んだ人の血が残つてゐるのだから

よろしく」といつて死んだ。「擊て！ 撃て！」と叫びつけた。D伍長は「何くそ！ 何くそ！」とうなりつゝけて死んだ。念佛を唱へたのもあつた、何て死んだ。

新年號にも負けない大勉強の特大號です。▲田河水泡の連載漫畫中でかブソーロを震はせてゐるのD伍長は「何くそ！ 何くそ！」とうなりつゝけて死んだ念佛を唱へたのもあつた、何て死んだ。

新年號から計画された（明

から筆者が創案した（のらくろ

突進隊）は、大長篇漫畫とでも

も知らない、體を低くしたばつかりに頭を撃たれたのであつた

小便をしてゐたのが、小便ぐるみ持つて行かれたのがある、

小便をしなかつたらよかつたの

であつた

大きな口を開けて號令をかけた瞬間に頭が頬から頬へ突つた

が、號令をかけなかつたら號

がメチャ／＼になつただらう、

もあつた

煙の中に三十あまりの土饅頭

子供よく此もでうる、そして

開港第一ページから腹を抱へて笑はずには居れません。

▲新年號から計画された（明

から筆者が創案した（のらくろ

突進隊）は、大長篇漫畫とでも

も知らない、體を低くしたばつ

かりに頭を撃たれたのであつた

小便をしてゐたのが、小便ぐ

るみ持つて行かれたのがある、

小便をしなかつたらよかつたの

であつた

大きな口を開けて號令をかけた瞬間に頭が頬から頬へ突つた

が、號令をかけなかつたら號

がメチャ／＼になつただらう、

もあつた

煙の中に三十あまりの土饅頭

子供よく此もでうる、そして

開港第一ページから腹を抱へて笑はずには居れません。

▲新年號から計画された（明

から筆者が創案した（のらくろ

突進隊）は、大長篇漫畫とでも

も知らない、體を低くしたばつ

かりに頭を撃たれたのであつた

小便をしてゐたのが、小便ぐ

るみ持つて行かれたのがある、

小便をしなかつたらよかつたの

であつた

大きな口を開けて號令をかけた瞬間に頭が頬から頬へ突つた

が、號令をかけなかつたら號

がメチャ／＼になつただらう、

もあつた

煙の中に三十あまりの土饅頭

子供よく此もでうる、そして

開港第一ページから腹を抱へて笑はずには居れません。

▲新年號から計画された（明

から筆者が創案した（のらくろ

突進隊）は、大長篇漫畫とでも

も知らない、體を低くしたばつ

かりに頭を撃たれたのであつた

小便をしてゐたのが、小便ぐ

るみ持つて行かれたのがある、

小便をしなかつたらよかつたの

であつた

大きな口を開けて號令をかけた瞬間に頭が頬から頬へ突つた

が、號令をかけなかつたら號

がメチャ／＼になつただらう、

もあつた

煙の中に三十あまりの土饅頭

子供よく此もでうる、そして

開港第一ページから腹を抱へて笑はずには居れません。

▲新年號から計画された（明

から筆者が創案した（のらくろ

突進隊）は、大長篇漫畫とでも

も知らない、體を低くしたばつ

かりに頭を撃たれたのであつた

小便をしてゐたのが、小便ぐ

るみ持つて行かれたのがある、

小便をしなかつたらよかつたの

であつた

大きな口を開けて號令をかけた瞬間に頭が頬から頬へ突つた

が、號令をかけなかつたら號

がメチャ／＼になつただらう、

もあつた

煙の中に三十あまりの土饅頭

子供よく此もでうる、そして

開港第一ページから腹を抱へて笑はずには居れません。

▲新年號から計画された（明

から筆者が創案した（のらくろ

突進隊）は、大長篇漫畫とでも

も知らない、體を低くしたばつ

かりに頭を撃たれたのであつた

小便をしてゐたのが、小便ぐ

るみ持つて行かれたのがある、

小便をしなかつたらよかつたの

であつた

大きな口を開けて號令をかけた瞬間に頭が頬から頬へ突つた

が、號令をかけなかつたら號

がメチャ／＼になつただらう、

もあつた

煙の中に三十あまりの土饅頭

子供よく此もでうる、そして

開港第一ページから腹を抱へて笑らずには居れません。

▲新年號から計画された（明

から筆者が創案した（のらくろ

突進隊）は、大長篇漫畫とでも

も知らない、體を低くしたばつ

かりに頭を撃たれたのであつた

小便をしてゐたのが、小便ぐ

るみ持つて行かれたのがある、

小便をしなかつたらよかつたの

であつた

大きな口を開けて號令をかけた瞬間に頭が頬から頬へ突つた

が、號令をかけなかつたら號

がメチャ／＼になつただらう、

もあつた

煙の中に三十あまりの土饅頭

子供よく此もでうる、そして

開港第一ページから腹を抱へて笑らずには居れません。

▲新年號から計画された（明

から筆者が創案した（のらくろ

突進隊）は、大長篇漫畫とでも

も知らない、體を低くしたばつ

かりに頭を撃たれたのであつた

小便をしてゐたのが、小便ぐ

るみ持つて行かれたのがある、

小便をしなかつたらよかつたの

であつた

大きな口を開けて號令をかけた瞬間に頭が頬から頬へ突つた

が、號令をかけなかつたら號

がメチャ／＼になつただらう、

もあつた

煙の中に三十あまりの土饅頭

子供よく此もでうる、そして

開港第一ページから腹を抱へて笑らずには居れません。

▲新年號から計画された（明

から筆者が創案した（のらくろ

突進隊）は、大長篇漫畫とでも

も知らない、體を低くしたばつ

かりに頭を撃たれたのであつた

小便をしてゐたのが、小便ぐ